

## 解説

- a SGLT2 阻害薬は尿細管からの糖の再吸収を阻害して、尿に糖を出すことで血糖を下げる。この薬剤は、肥満があり、認知症やサルコペニアや低栄養がない、飲水や運動が可能な患者では体重は減少するが、BMI 19.0 のこの患者に追加する必要はない。
- b 高齢者の糖尿病治療では一般的なエネルギー制限よりも、身体的機能、認知機能からくる生活機能の低下を防ぐ食事ができるように指導することが求められる。
- c インスリン製剤を現時点で加える必要はない。
- d 糖尿病の合併症を防ぐための指標としては HbA1c を 7%未満にすることが一般的だが、高齢糖尿病患者では、低血糖をはじめとした副作用の発生を最小限にするために、より高い HbA1c 値で血糖を維持することが求められる。この患者の HbA1c は 6.1%と低く、何度も低血糖発作を起こしているので、スルホニル尿素薬を減量することが第一に求められる。
- e ビグアナイド系薬剤は腎機能低下の患者への使用には注意が必要である。eGFR30mL/分/1.73m<sup>2</sup>以下の腎不全合併例では禁忌となる。

正 解 d

なお、この問題は日本医師会の生涯教育講座「高齢者の糖尿病～糖尿病と上手につきあうためには～」〔改訂版〕(CC・76)を参考にさせていただきました。